

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2004-207781 (P2004-207781A)  
 【公開日】平成 16 年 7 月 22 日 (2004.7.22)  
 【年通号数】公開・登録公報 2004-028  
 【出願番号】特願 2002-370940 (P2002-370940)  
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/232  
 G 0 2 B 7/08  
 G 0 3 B 5/00  
 G 0 3 B 17/04  
 H 0 4 N 5/225  
 H 0 4 N 5/91

// H 0 4 N 101:00

【F I】

H 0 4 N	5/232	Z
H 0 4 N	5/232	A
H 0 4 N	5/232	E
G 0 2 B	7/08	C
G 0 3 B	5/00	E
G 0 3 B	17/04	
H 0 4 N	5/225	F
H 0 4 N	5/91	J
H 0 4 N	101:00	

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 24 日 (2004.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画を撮影する動画撮影モードと静止画像を撮影する静止画撮影モードとを有し、撮影レンズを介して撮影する撮像装置であって、  
前記撮像装置の電源をオン／オフする電源ボタンと、  
前記動画撮影モード及び前記静止画撮影モードのいずれかを選択する撮影モード選択手段と、  
前記撮影レンズのズーム倍率を変更するために前記撮影レンズを移動させるズーム駆動手段とを備え、  
前記ズーム駆動手段は、電源がオンされた時に、前記撮影モード選択手段により選択された前記動画撮影モード又は前記静止画撮影モードに基づいて、前記撮影レンズを移動させることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記ズーム駆動手段は、電源がオンされた時に、前記動画撮影モードが選択されている場合には、前記撮影レンズを広角端まで移動させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

## 【請求項 3】

前記動画撮影モードと前記静止画撮影モードにおける電源オン時のそれぞれの初期ズーム倍率を選択するズーム倍率選択手段と、  
選択された初期ズーム倍率を記憶する記憶手段と  
を更に備え、  
前記ズーム駆動手段は、電源がオンされた時に、前記記憶手段に記憶された初期ズーム倍率に基づいたズーム倍率位置まで前記撮影レンズを移動させることを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。